



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

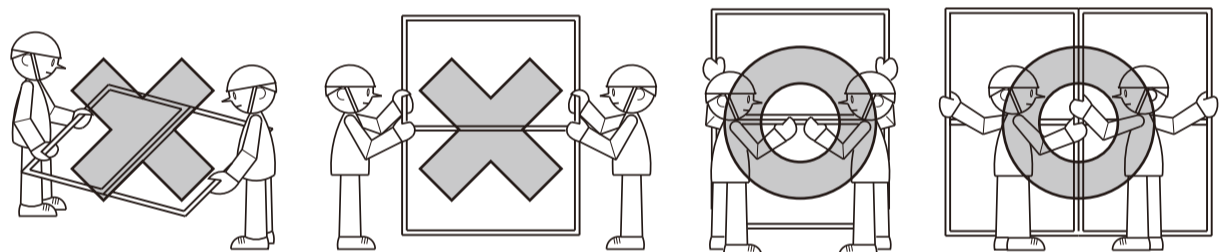
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

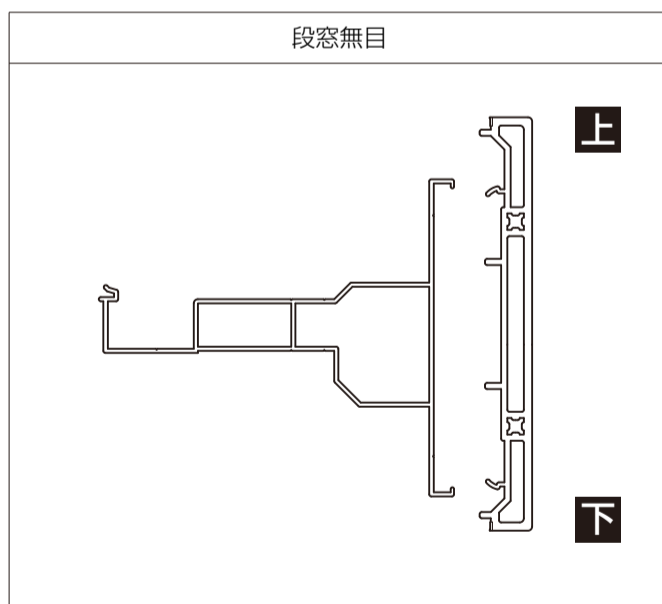
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
- 段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■段窓無目





■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

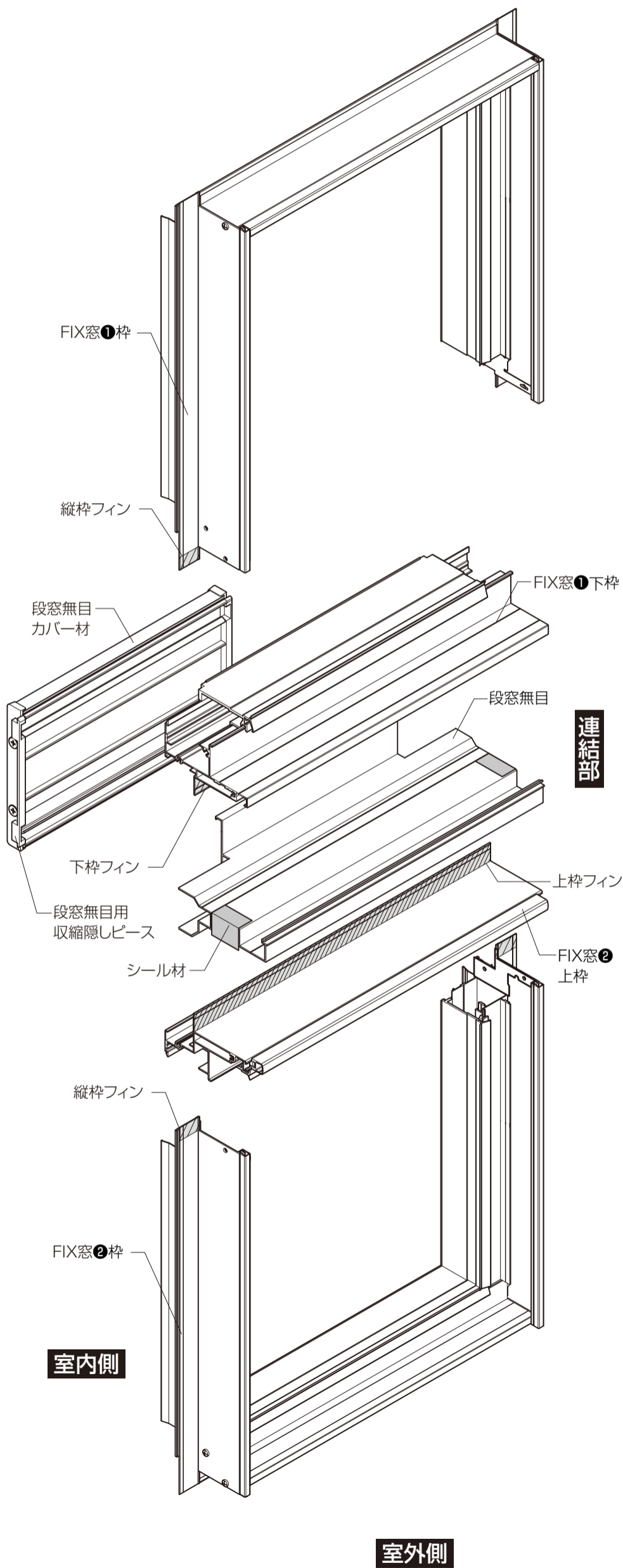
①	②	③	④
薄平タッピングねじ (2種) $\phi 4 \times 30$ (G5) ※単体サッシ本体に同梱	ブラインドセルフタッピングねじ $\phi 4 \times 10$	ブラインドセルフタッピングねじ $\phi 4 \times 8$	段窓無目外側カバー

■組立て順序

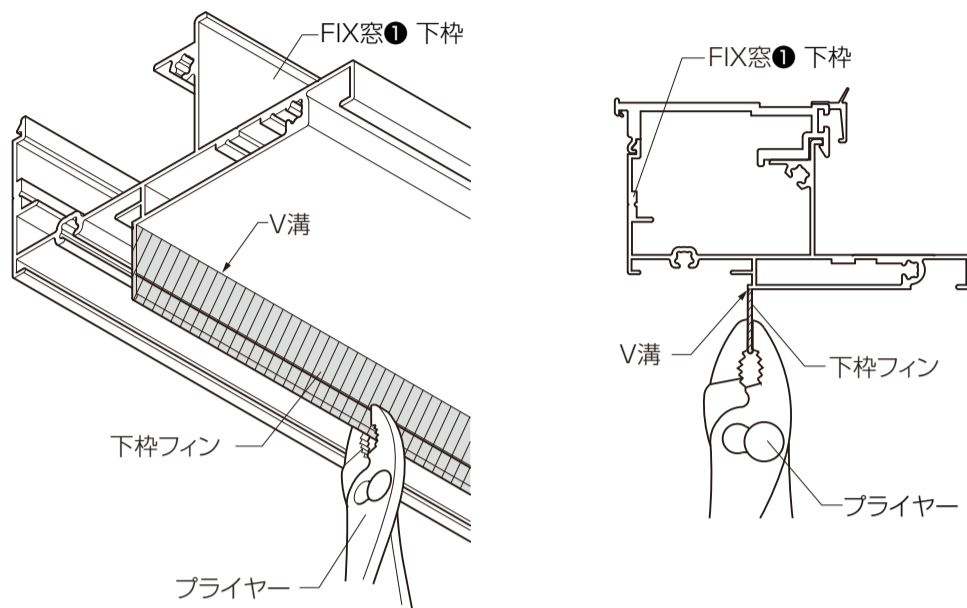
1 縦枠・上下枠フィンのカット

- ① 連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。
- ② プライヤーで、部を折曲げながら取除きます。
- ③ コーキングシーラーのを切取ります。

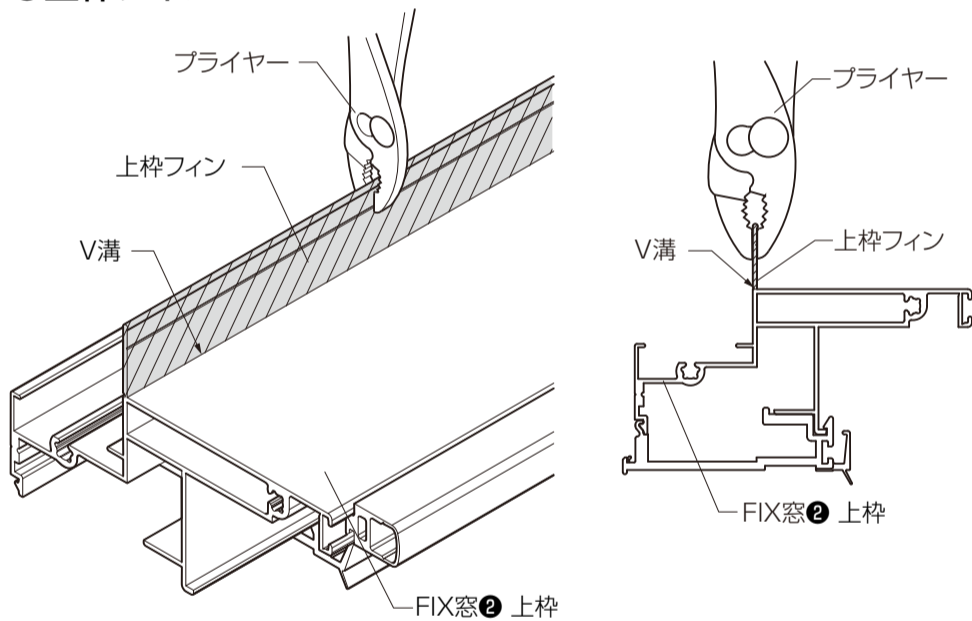
【組立て例：FIX窓+FIX窓】



●下枠フィン

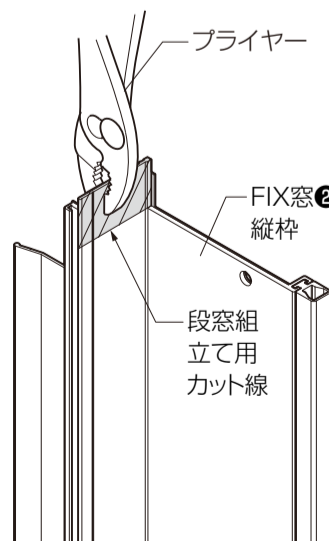


●上枠フィン



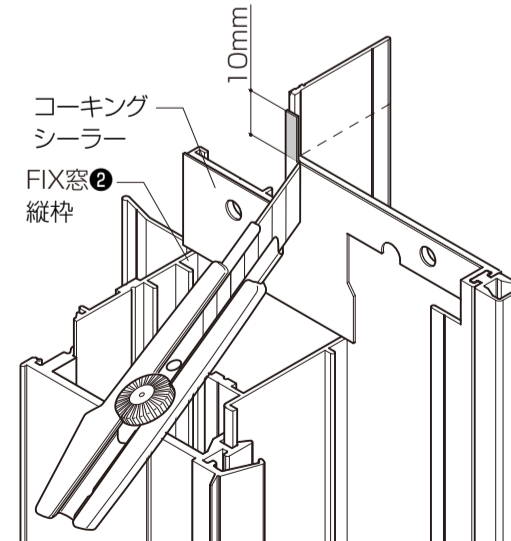
●縦枠フィン

※FIX窓① 縦枠下部も同様です。



●コーキングシーラー

※FIX窓① 縦枠下部も同様です。



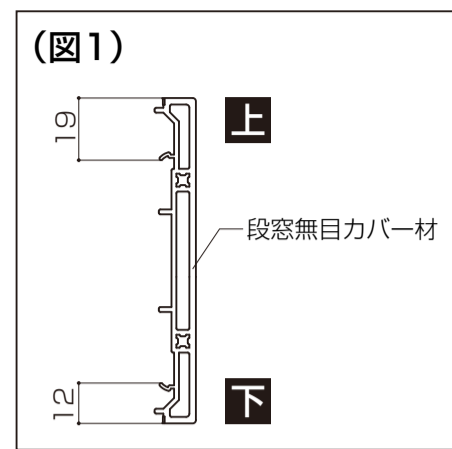
2 段窓無目との連結

※段窓部の上下枠を枠と組立てていない状態で連結を行ってください。

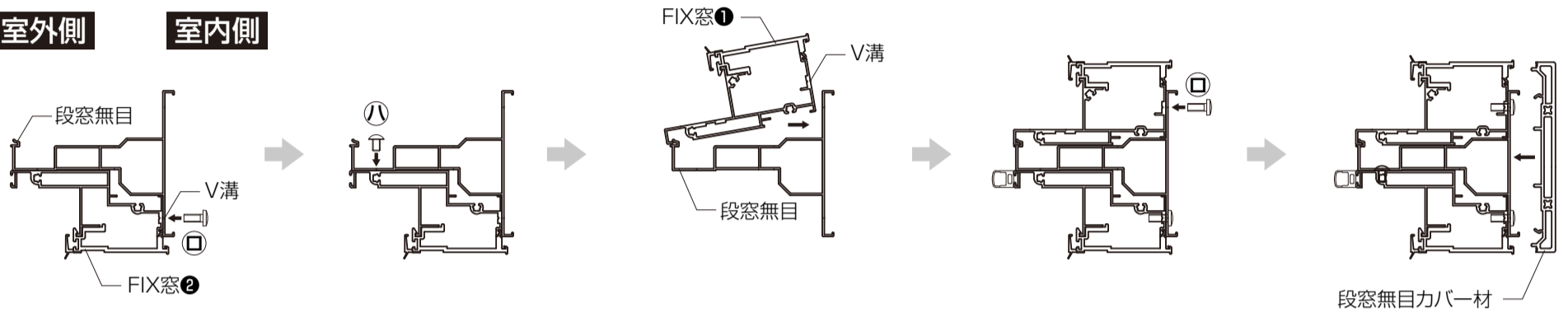
- ①FIX窓②（下段）を段窓無目と一体に組合わせ、端部を面一に合わせてから、FIX窓②上枠のV溝に向けて室内側からセルフタッピンねじでねじ止めします。（㊦のねじ）段窓無目の上から、丸穴の位置にセルフタッピンねじでねじ止めします。（㊧のねじ）
- ②FIX窓①（上段）を段窓無目の室外側リブに引っ掛けて回転させ、差込み、端部を面一に合わせ、段窓無目の穴をねじ止めします。（㊨のねじ）
- ③段窓無目カバー材をはめ込みます。

※カバー材の上下を確認してください。（図1）

※アングルアタッチメントを取付けされる場合には、額縁取付け穴の位置をご確認ください。
段窓無目の位置にねじ穴がある場合には、額縁施工後に段窓無目カバー材をはめ込んでください。



室外側 室内側



3 枠の組立て・シーリング

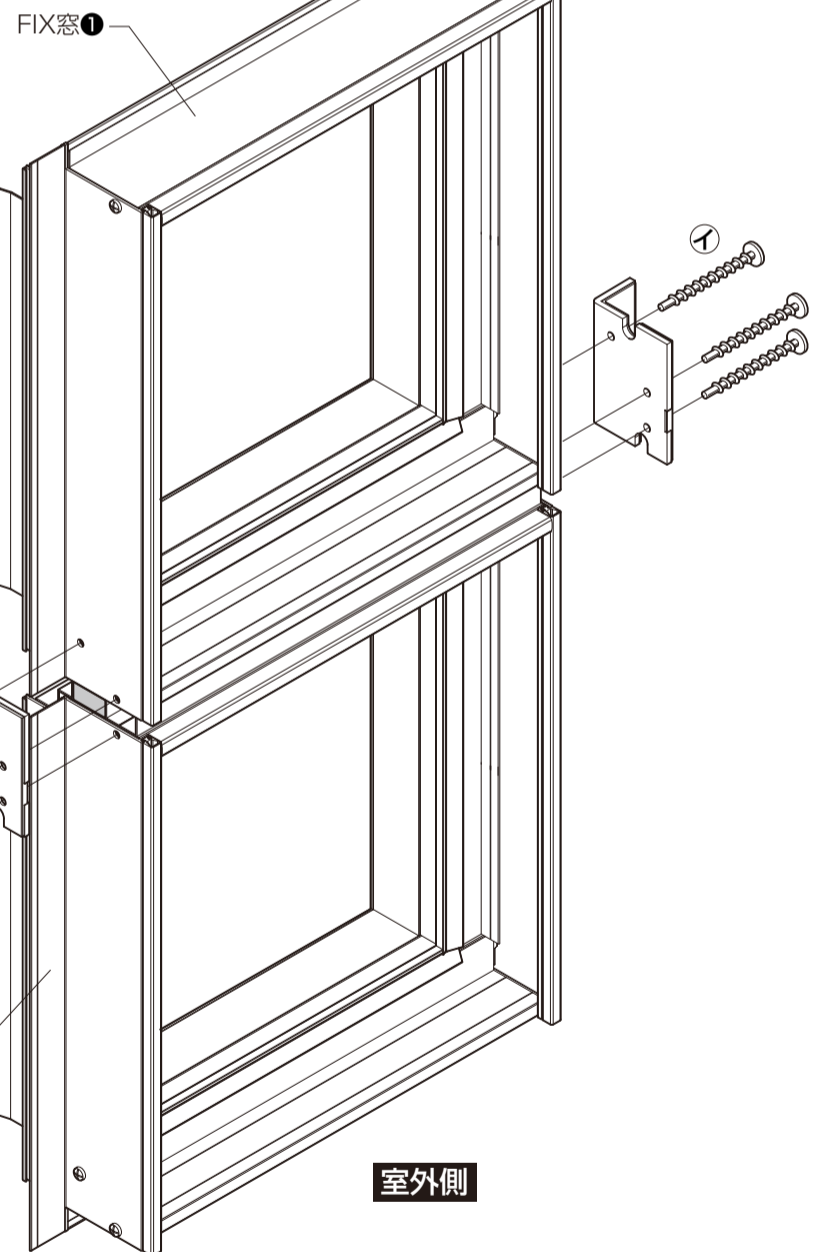
- ①上下の窓枠をそれぞれ組立て、段窓無目と組合わせます。
- ②連結部・縦枠の室外側の枠組立てねじ（㊩のねじ）をいったん外し、そのねじで段窓無目外側カバー材を取付け、指定の位置（●部）にコーキング材（別途）を充てんします。（「■段窓無目外側カバー材 シーリング箇所」参照）
- ③フィンの裏面より防水補助シールを張付けます。

注意

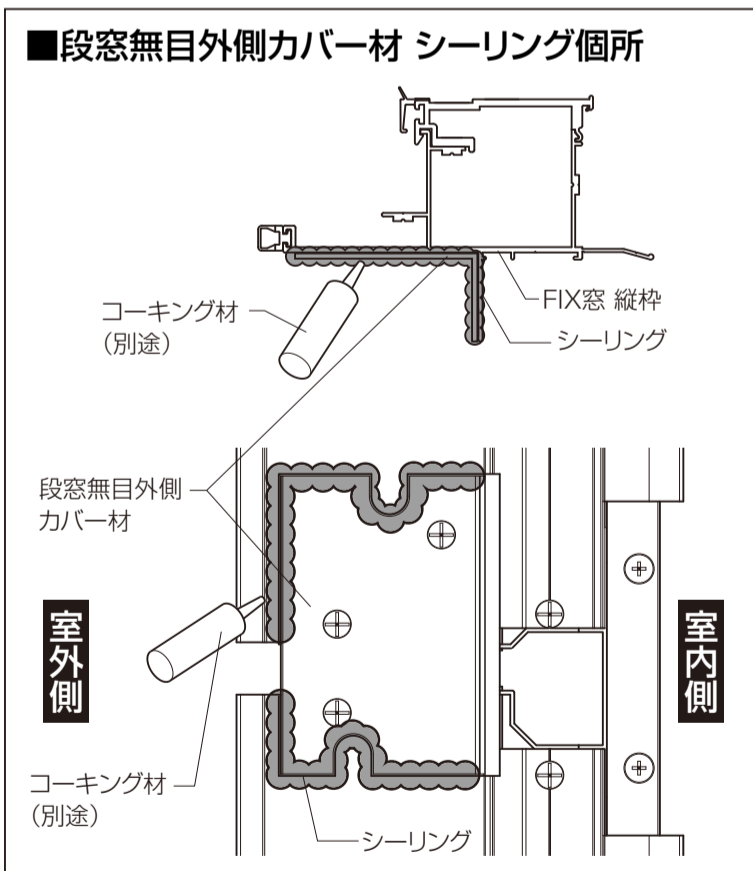
- ㊩薄平タッピンねじは2.5 ±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

注意

- 漏水防止のため、指定箇所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。

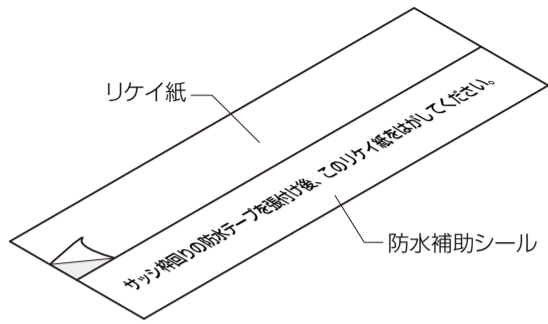


■段窓無目外側カバー材 シーリング箇所



■防水補助シールの張付け

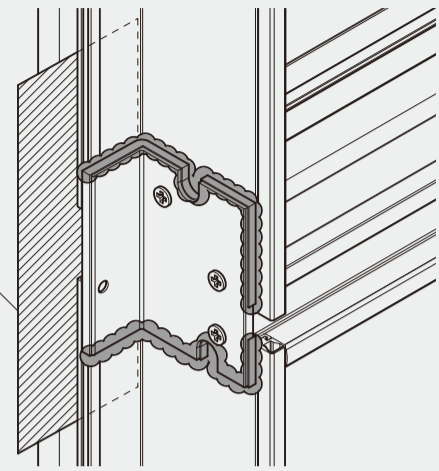
- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
- ※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



▲注意

- 段窓無目外側カバー材取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

防水補助シール




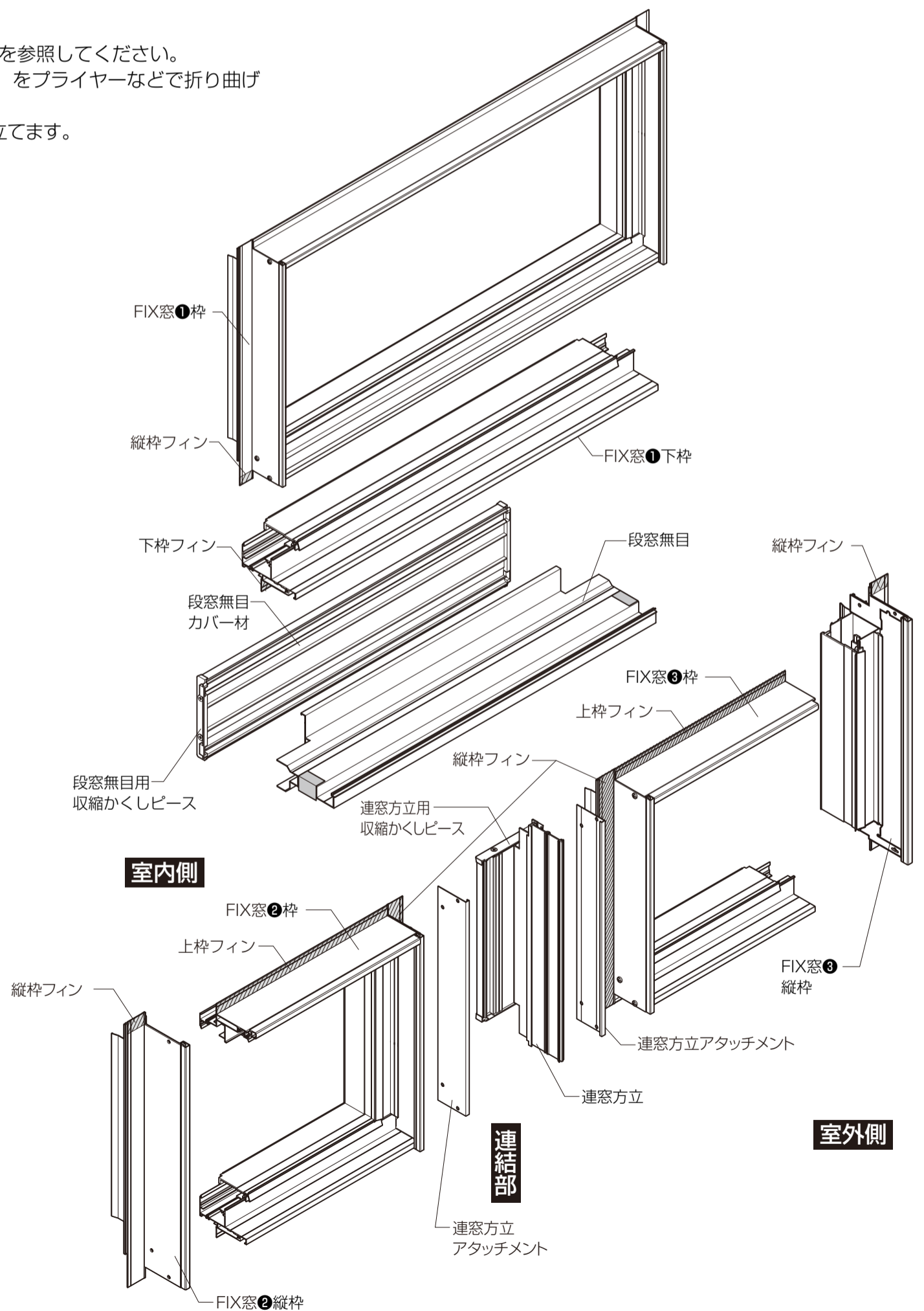
■連段窓の組立て順序

【FIX窓+FIX連窓の場合】

1 連結前の準備

※連窓部の詳細は「連窓方立 組立て説明書」を参照してください。

- ①連結部の縦枠・上下枠のフィン（部）をプライヤーなどで折り曲げながら取り除きます。
- ②FIX窓②と③の上下枠と、連結側の縦枠を組立てます。
- ③FIX窓①の上枠と縦枠を組立てます。



2 連窓部の組立て

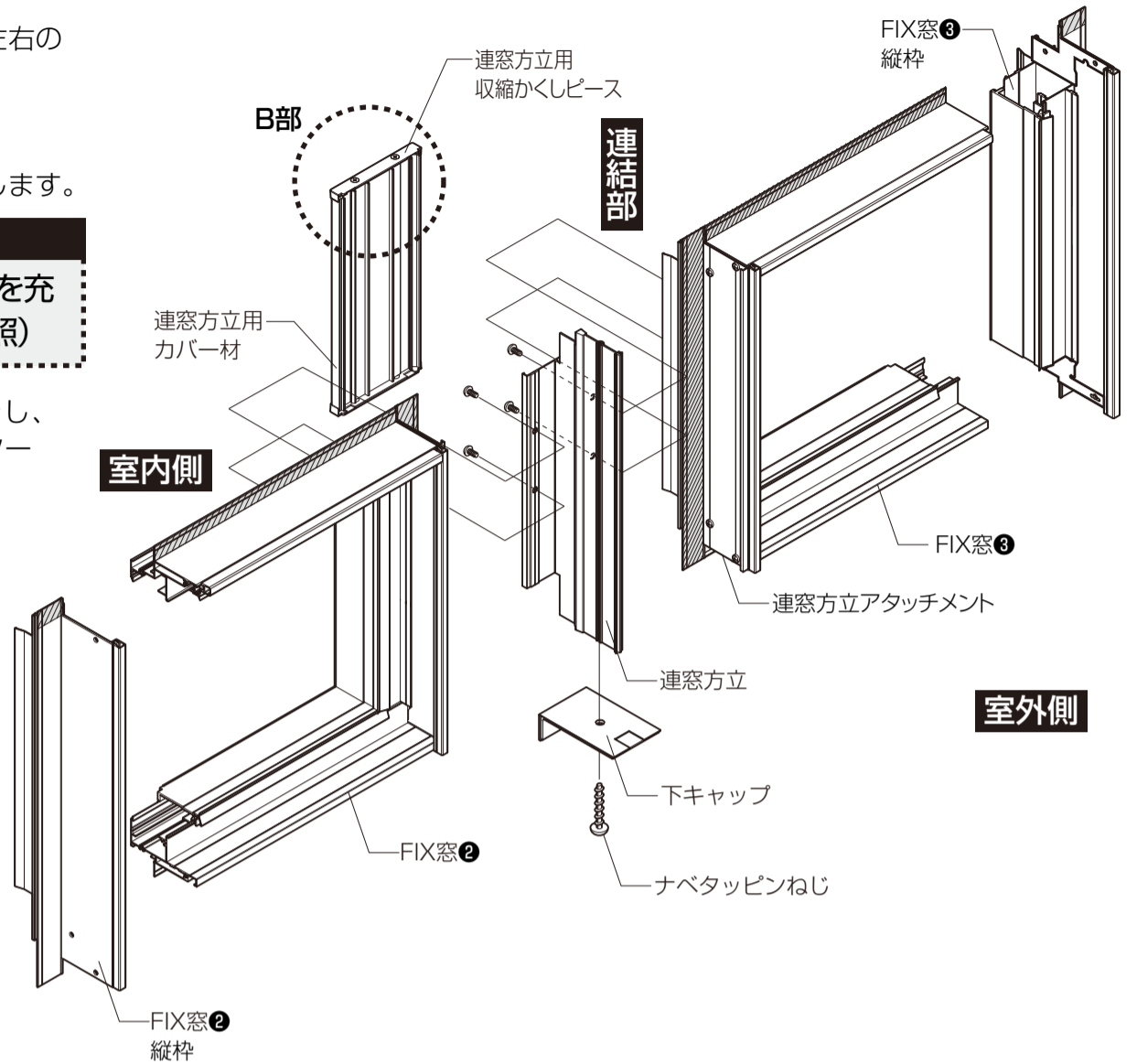
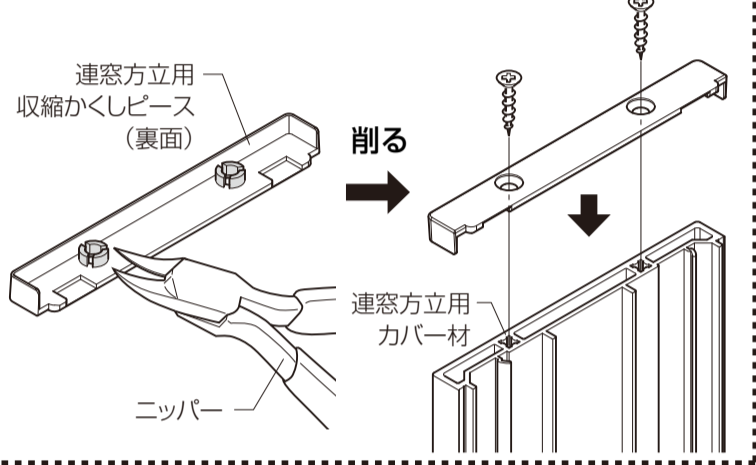
- ①「連窓方立 組立て説明書」にしたがって、連窓方立と左右の枠を連結します。
- ②連窓方立下端に、下キャップを取付けます。
※この場合、上キャップは使用しません。
※連窓しない側の縦枠は最後に取付けますので、仮止めとします。

▲注意

- 下キャップ取付け前後、コーキング材（別途）を充てんしてください。（「連窓方立 組立て説明書」参照）

- ③段窓する側の連窓方立用収縮かくしピースを取りはずし、「B部詳細図」のように内側のリブをニッパーやカッター等で切って取り除いて同じねじで取付けてください。

■B部詳細図



3 段窓部の組立て

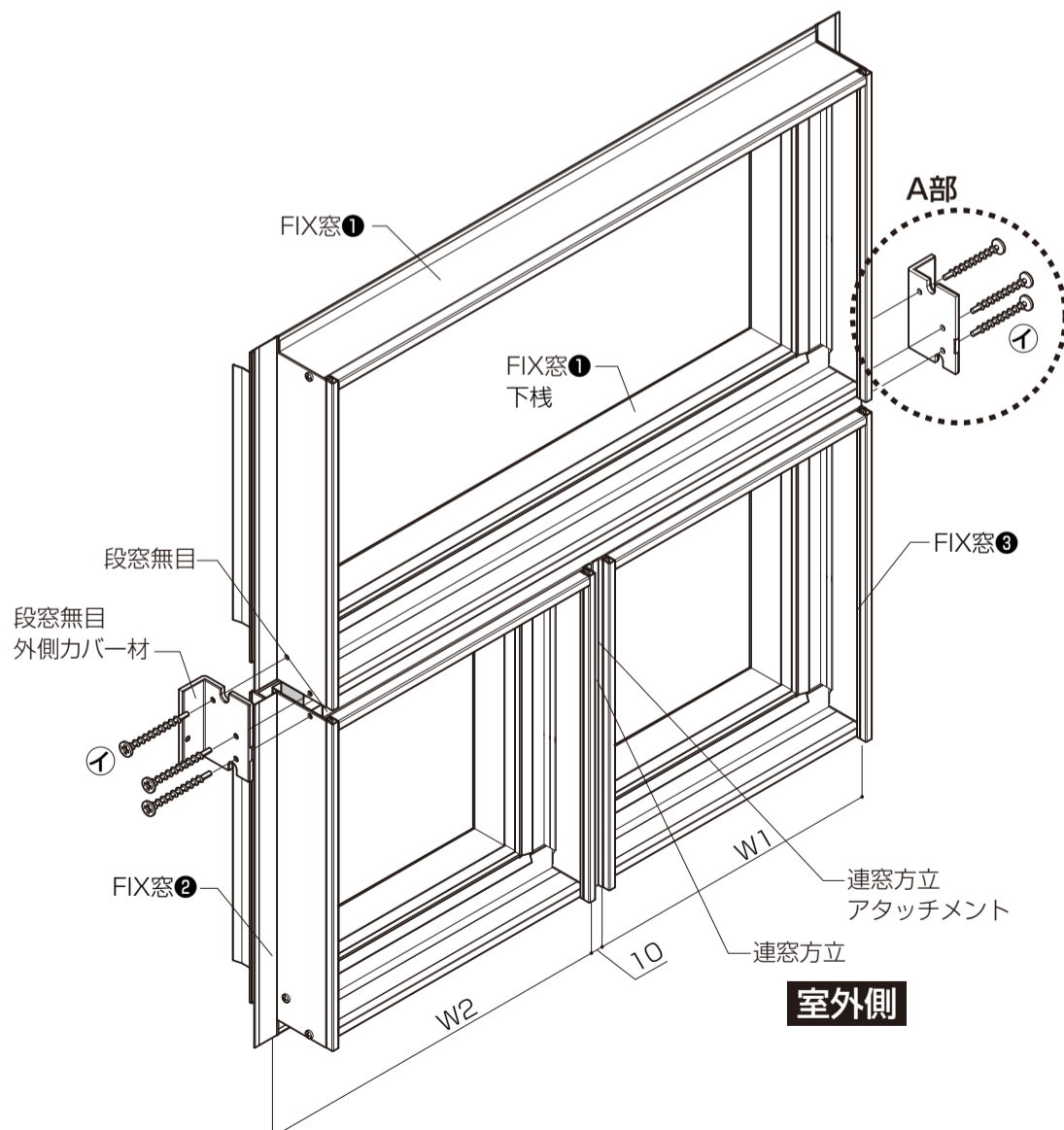
- ①FIX窓②と③の上枠を段窓無目の端部位置と合わせて室内側からV溝に向けてセルフタッピンねじでねじ止めします。
次に段窓無目の上側からセルフタッピンねじでねじ止めします。
- ②FIX窓①の下枠を段窓無目の室外側リブに引っ掛けて、回転させ差込みV溝に向けてねじ止めします。
- ③段窓部・縦枠の室外側のねじ（④のねじ）で段窓無目室外側カバー材を取付け、枠と段窓無目を固定します。
- ④段窓無目室外側カバー材にコーキング材を充てんします。（P.3「段窓無目外側カバー材 シーリング箇所」参照）
- ⑤フィンの裏面より防火補助シールを張付けます。

▲注意

- 漏水防止のため、指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。

▲注意

- 段窓無目外側カバー材取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。



【上段に連窓がある場合】

■ 枠の組立て・シーリング

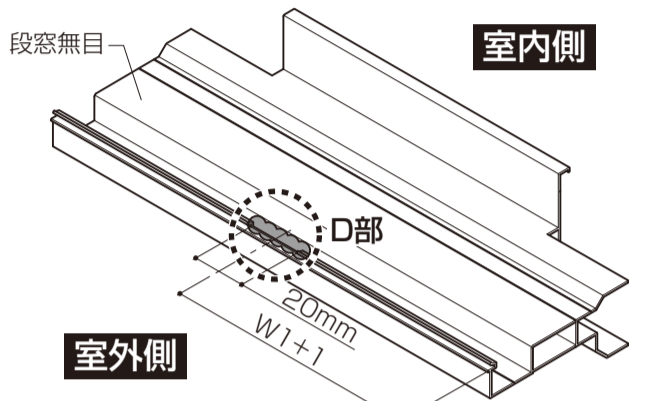
- ※P.3「**2**段窓無目との連結」にしたがって、段窓無目と上下の枠を連結します。
- 段窓無目の連窓方立接続部（**●**部）を切欠き、コーキング材（別途）を充てんします。
- ※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

▲ 注意

- 漏水防止のため、指定箇所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。

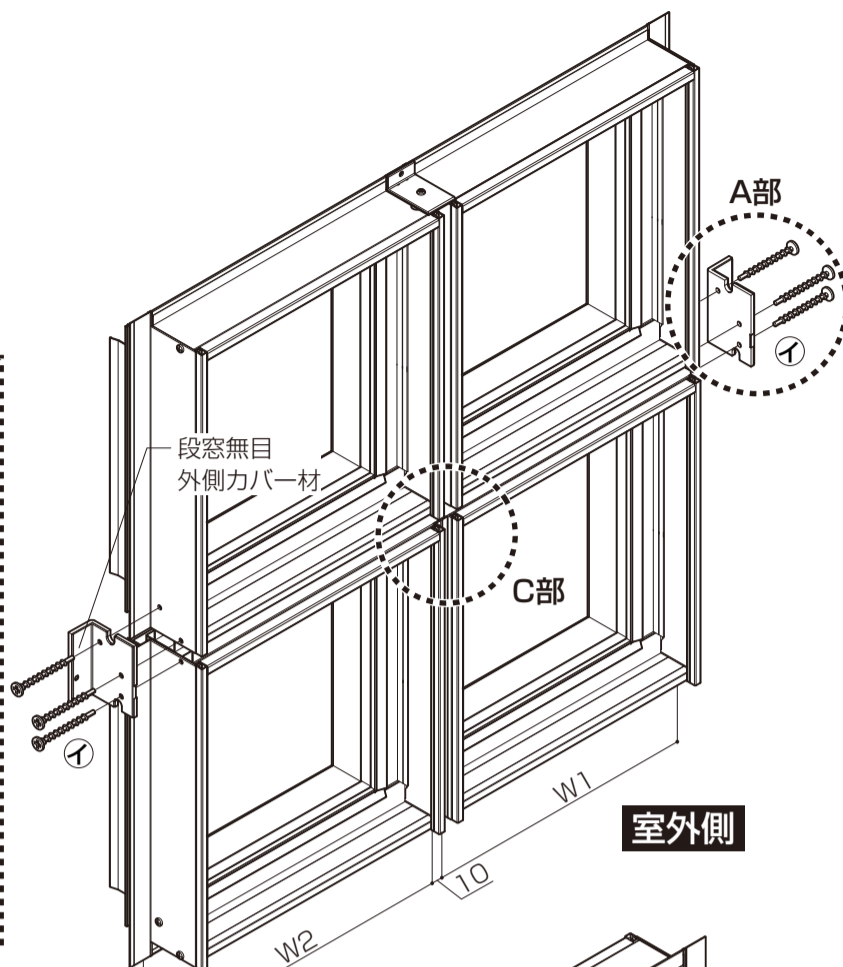
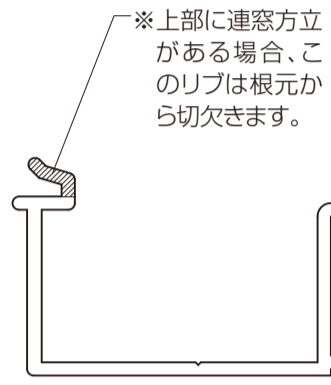
■ シーリング箇所

●上部に連窓方立がある場合



※切欠き後、コーキング材（別途）を充てんしてください。

■ D部詳細図 (断面)

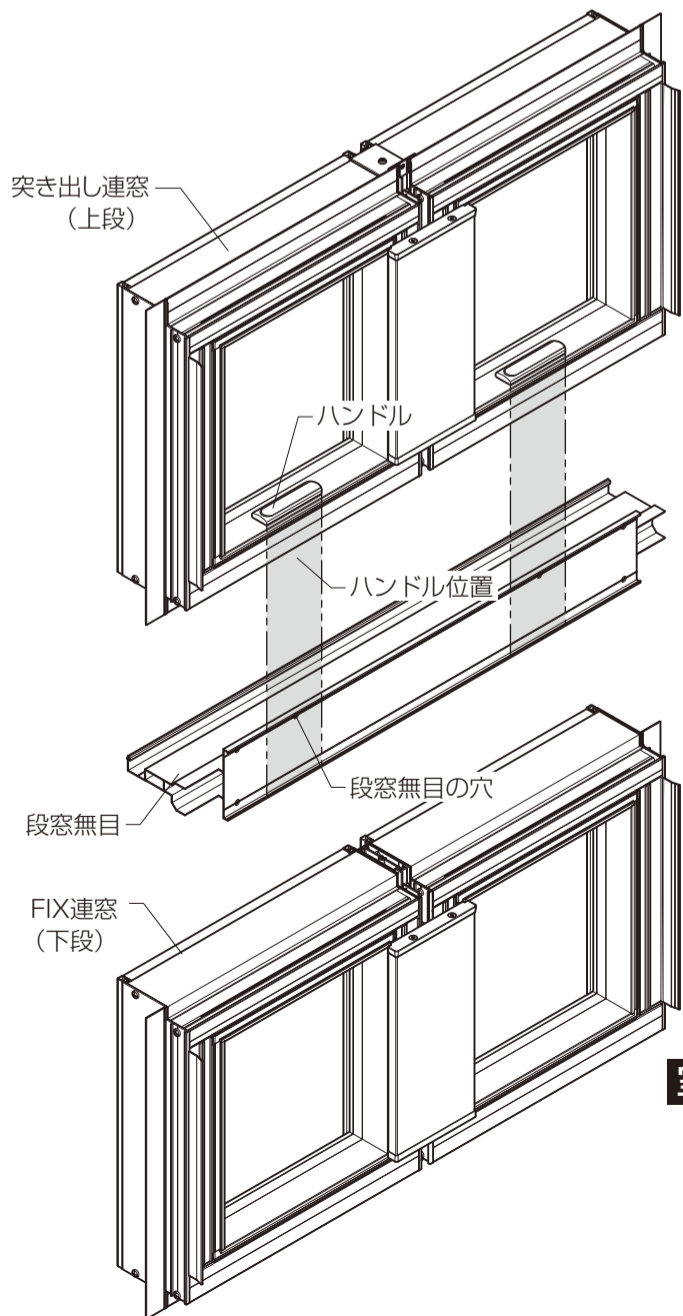
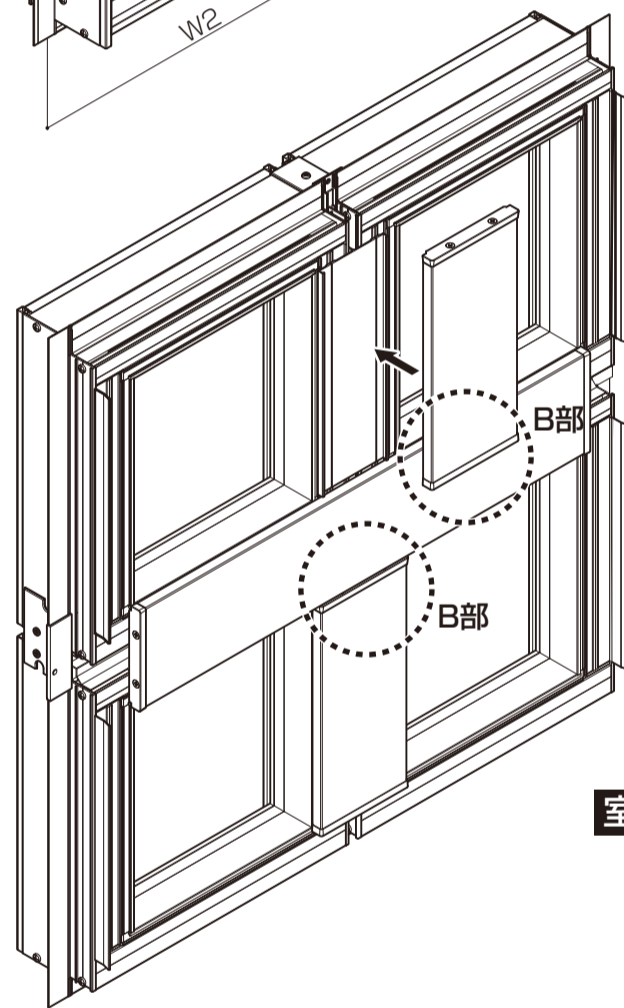


▲ 注意

- 上キャップ取付け後、下キャップ取付け前後にコーキング材（別途）を充てんしてください。（「連窓方立組立て説明書参照」）

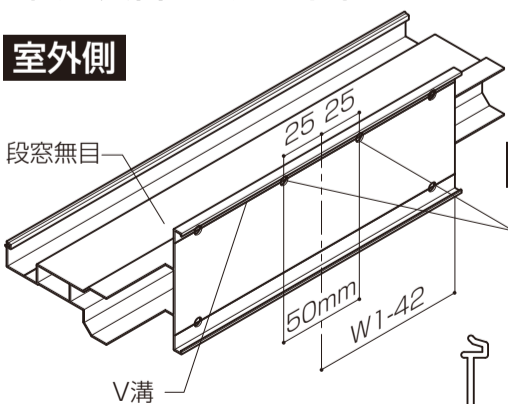
【上段に突き出し窓の連窓がある場合の注意】

- 下図のようにハンドル位置に段窓無目の穴が来る場合は、下右図のように段窓無目にφ4.5の穴あけを行います。この穴に⊕のねじで段窓無目との連結を行ってください。



■ 段窓無目の穴あけ位置

室外側



室内側

